

2022年度 豊岡市域の温室効果ガス排出量について 《2025年5月12日作成》

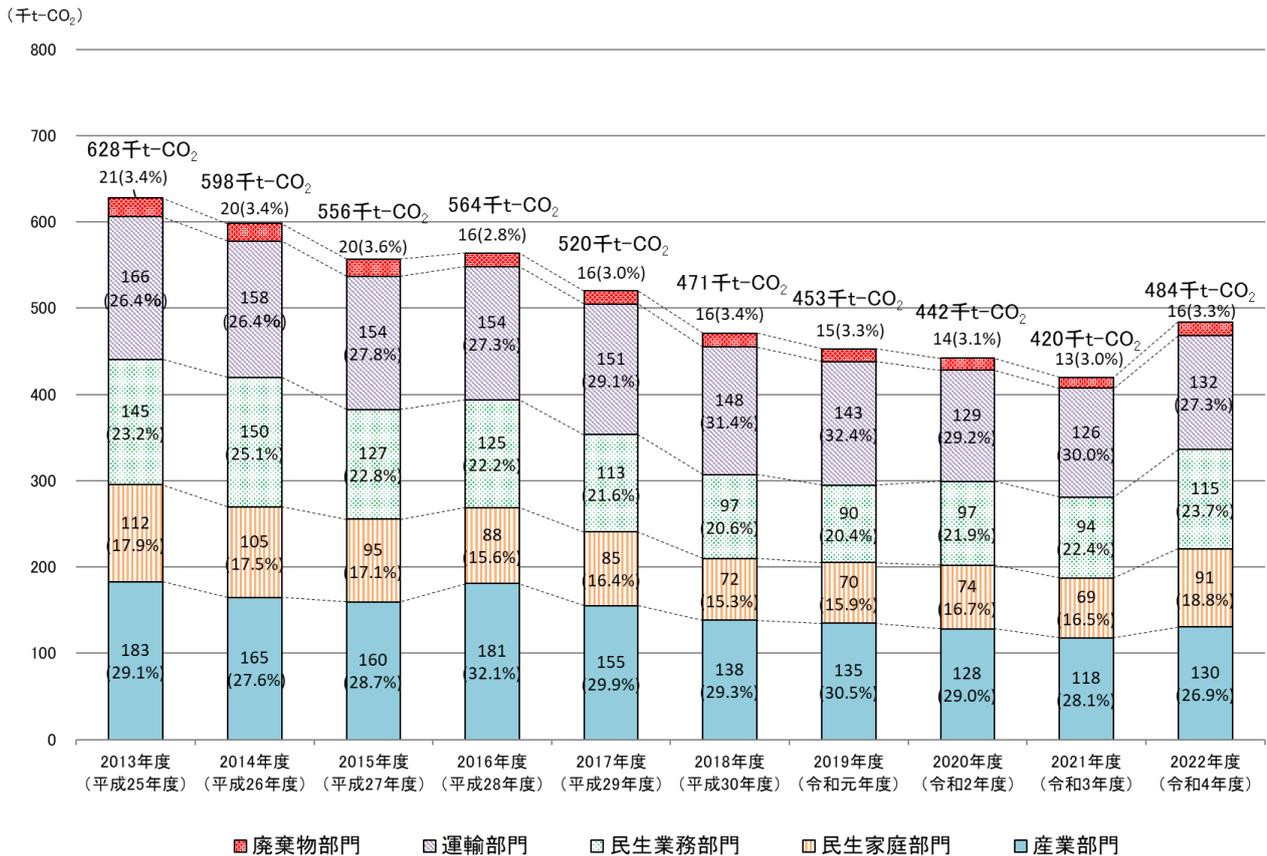
市では2030年度温室効果ガス削減目標を2013年度比54%削減と掲げ、脱炭素化の取組みを進めています。このたび、2022年度の市域の温室効果ガス排出量を算定しましたので、お知らせします。

1. 市域総排出量

2022年度総排出量は、484千t-CO₂で、2021年度に比べ64千t-CO₂増加（15%増）しました（国：2.3%減、兵庫県：3.2%増*）。

また、豊岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の基準年度（2013年度）に比べ144千t-CO₂減少（22.9%減）しました（国：22.9%減、兵庫県：16.9%減*）。

※ 兵庫県の削減率は、2022(R4)年度の温室効果ガス排出量（速報値）による数値である。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移（2013年度～2022年度）

2. 部門別増減状況と要因

<状況>

豊岡市部門別 CO₂ 排出量 (2013 年度・2021 年度・2022 年度の比較)

部門	部門内訳	2013 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	2021 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	2022 年度 排出量 (千 t-CO ₂)	削減割合 (%) 上段： 前年度比 下段： 2013 年度比	部門割合 2021→2022 (%)
産業	製造業、農 林水産業、 建築業、鉱 業	183	118	130	10.2 ▲30.0	28.1→26.9
民生 家庭	自動車を除 く家庭消費	112	69	91	31.9 ▲18.8	16.5→18.8
民生 業務	事務所、ビ ル、ホテル、 サービス業 など	145	94	115	22.3 ▲20.7	22.4→23.7
運輸	乗用車、バ ス、鉄道、飛 行機など	166	126	132	4.8 ▲20.5	30.0→27.3
廃棄物	廃棄物の埋 め立て及び 焼却、下水 処理	21	13	16	23.1 ▲23.8	3.0→3.3
合計	—	628	420	484	15.2 ▲22.9	—

※ 端数処理の関係で、内数と合計が一致しない場合があります。

<要因>

・産業部門

前年度に比べ 10.2%増加しました。省エネの進展などによりエネルギー消費量（燃料や電力の使用量）は減少しているものの、電力の CO₂ 排出係数（電気を作るために発生する CO₂ の割合：2021 年度 0.311kg-CO₂/kWh、2022 年度 0.434kg-CO₂/kWh）が大きくなったことで排出量が増加したと考えられます。

・民生家庭部門

前年度に比べ 31.9%と大幅に増加しました。世帯数の増加（前年度比+132 世帯）や電

力使用量の増加（前年度比 12.1%増）等含め、エネルギー消費量は微増（前年度比 6.4%増）であるものの、電力の CO₂ 排出係数が大きくなったことが大幅な増加要因と考えられます。

・ 民生業務部門

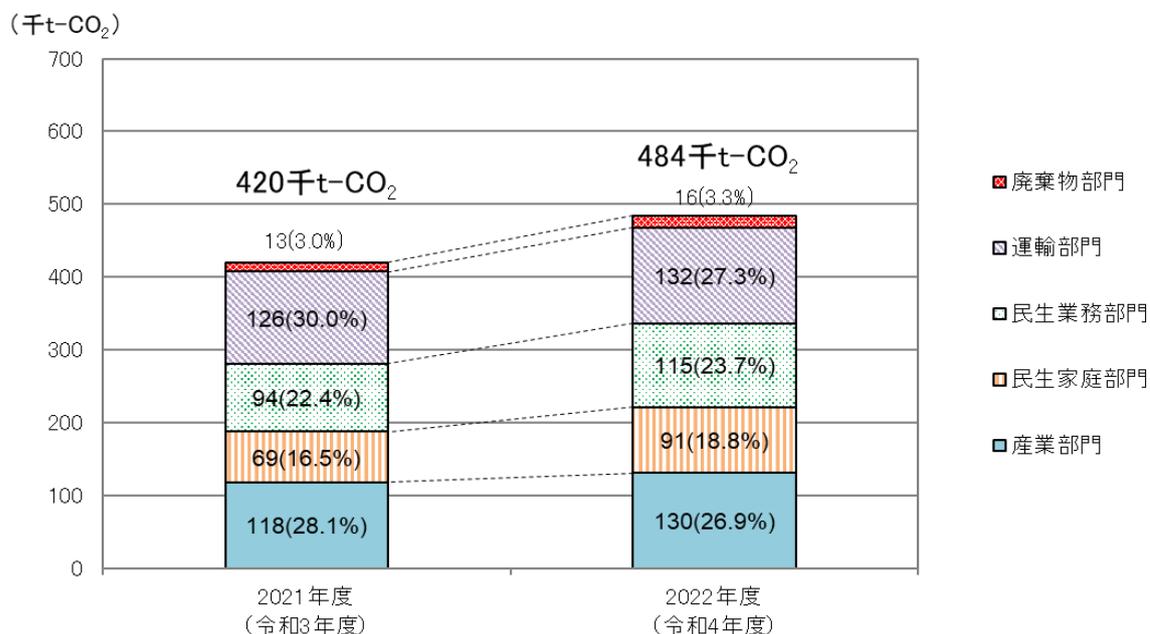
前年度に比べ 22.3%増加しました。省エネ設備への更新等によりエネルギー消費量は微減（前年度比▲2.3%）したものの、電力の CO₂ 排出係数が大きくなったことが大幅な増加要因と考えられます。

・ 運輸部門

前年度に比べ 4.8%増加しました。自動車台数の増加（前年度比+161台）と併せ、自動車のエネルギー消費量が増加（前年度比 2.8%増）したことが要因と考えられます。

・ 廃棄物部門

前年度に比べ 23.1%増加しました。クリーンパーク北但での廃棄物処理に係るエネルギー消費量は減少（前年度比▲23.8%）しているものの、下水処理施設でのエネルギー消費量増加（前年度比 2.8%増）や電力の CO₂ 排出係数が大きくなったことが大幅な増加要因と考えられます。



豊岡市の温室効果ガス排出量の推移（2021年度・2022年度）